

平成24年12月定例会
12月12日 一般質問質疑応答状況

質問者	質問事項・内容	答弁者	答弁内容（検討事項）	検討・対処結果
石川議員	<p>①来年度の予算編成について</p> <p>・本年度の予算については町長の思い、考えが入っていないと考えるが、町長選での公約、基本理念の実現に向け、25年度予算は町長の真価がとわれる場面である。特にどのようなことに力点をおいた予算編成をされるのかお聞かせいただきたい。</p> <p>②障がい者にやさしい町づくりについて</p> <p>・体が不自由な方が、町施設を利用される際のスロープ化、バリアフリー化が十分に整備されているか伺う。また、目の不自由な方への点字表示、聴覚に障がいを持った方への安全対策等について町の考え、実情を伺う。</p>	<p>三宅町長</p> <p>木村健康福祉課長</p>	<p>・第5次川本町総合計画にかかげた4分野に厳選し、優先的に配分する新たな予算編成手法を導入した。</p> <p>1.『医療福祉の充実』の分野では、公約の柱の一つでもある「盤石なる高齢者対策の確保」に向けた地域医療の充実策や医療費負担の軽減策。</p> <p>2.『雇用の場の確保』の分野では、「小さな町からの新たな町おこし」に向けた農業の6次産業化の一層の推進策の検討。</p> <p>3.『居住空間の整備』の分野では、公営住宅の入居の促進に向けての要件緩和。</p> <p>4.『子ども教育の充実』の分野では、地域力を活かした人間力の形成に寄与する小中一貫教育を図るための研究、また、島根中央高校の一層の魅力化に向けた支援策の検討。その他道路改良、防災対策など町民生活に直結する重要課題等、スケジュール感を持ちながら、職員の創意工夫を引き出し、一緒に知恵を絞りながらメリハリを効かせた予算編成をやり他と考える。</p> <p>・町施設のスロープ化及びバリアフリー化については36施設の内26施設にスロープを設置。12施設がバリアフリー化している。役場については、スロープ、バリアフリー化とも整備しており、障害者用トイレやオストメイトも整備したところである。「すこやかセンター」や「インフォメーションセンターかわもと」にもスロープ、バリアフリー化、障害者用トイレ等整備されている。また、集会所については、24カ所の内14カ所にスロープ、1カ所がバリアフリー化されている。次に、目の不自由な方への点字表示と聴覚に障がいを持った方への安全対策等については、視覚障害者へのサービスとして「社会福祉法人わかば会」が実施、11月から「社会医療法人仁寿会」がサービスを開始、町から発送する全ての定形封筒に点字表示を印</p>	

活性化したいという思いを胸に温湯城跡を探索された。そうした中、本町には「温湯城」・「赤城」・「青岩城」と3つの城跡がトライアングルのように存在し、それぞれの役割を果たしてきた。今後観光資源としての整備を、町としてバックアップ体制は考えられないか、尋ねる。

とは別に、ふるさとの歴史を知り、その時間の流れの中に暮らす我々にとって、これらの資源を積極的に活用することは望ましいことであると考えられる。

観光資源としての可能性については、将来、真の観光資源たるよう温湯城のポテンシャルを総合的に高めていく方策について、今後、商工会や観光協会など関係団体、機関と検討していきたいと考える。